

改正育児・介護休業法 令和4年4月から 段階的に施行



- ▼令和4年4月1日施行
 - 育児休業を取得しやすい雇用環境の整備
事業主は次のいずれかの措置を講じなければなりません。複数の措置を講ずることが望ましいです。
 - ①研修の実施②相談窓口の設置③自社の事例の収集や提供④自社の制度と取得促進に関する方針の周知
 - 本人または配偶者の妊娠・出産の申し出をした労働者に対して、個別の制度に関する周知、取得の意向確認の措置
 - 有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和
- ▼令和4年10月1日施行
 - 産後パパ育休（出生時育児休業）の創設
育児休業とは別に、子の出生後8週間以内に4週間まで取得が可能です。
 - 育児休業の分割取得が可能
出生時育児休業以外の通常の育児休業でも、分割取得が2回まで可能になります。
- ▼令和5年4月1日施行
 - 育児休業取得状況の公表の義務化
(対象：従業員数1千人超の企業)

令和4年度男女共同参画推進キャッチフレーズ

「あなたらしく」 を築く 「あたらしい」 社会へ



6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。内閣府では「男だから・女だから」といった性別役割意識にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて誰もが生きがいを感じられる社会の実現に向けてキャッチフレーズを募集し、北海道に住む17歳の人の作品が選ばれました。

断することによって起きています。無意識であるため、自分では気付くにくいものです。

大切なことはアンコンシャス・バイアスに気付くために、一人ひとりが普段の生活の中で意識することです。「これって、アンコンシャス・バイアスかも知れない」と、気付くことが第1歩。気付いた後は、決めつける・押し付ける考え方をしない・言葉も使わないように心がけ、少しずつ意識を変えてみましょう。

国では、第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日閣議決定）に基づき、固定的性別役割分担意識や性差に関する偏見の解消、固定観念を取り除くとともに、アンコンシャス・バイアスによる悪影響が生じないように、一人ひとりの意識改革と理解の促進を図ることとしています。

本市では、令和4年3月に、国や県の動向を踏まえて「第2次田川市男女共同参画プラン後期計画」を策定しました。この計画に基づき、アンコンシャス・バイアスの解消に向けて、意識啓発のための研修会や情報発信などに努めていきます。性別役割意識にとらわれず個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて誰もが生きがいを感じられる社会の実現に向けて、市民のみなさんのご協力をお願いいたします。

根強く残る 固定的性別役割分担意識

家庭・職場・地域などの場面で、無意識のうちに性別による役割分担をしていることはありませんか。個人の能力や資質とは関係なく、「男は仕事、女は家庭」といった、性別だけで役割を押し付けたり、向き不向きを決めつけたりする考え方を「固定的性別役割分担意識」と言います。

令和2年度に実施した市民意識調査の結果では「男は仕事、女は家庭」という考え方に對して「反対」が65.9%で「賛成」の27.5%を大きく上回る結果となりました。前回の調査と比べると、「賛成」が約10ポイント減少しており、性別についての固定的な価値観の解消が進んでいます。

一方、家庭内での役割分担を問う質問では、家事や育児、介護に該当する項目は「妻の役割」、収入を得るのは「夫の役割」と考える割合が高くなっており、総じて固定的性別役割分担が根強く残っていることがわかりました。

アンコンシャス・バイアスに 気付くことから始めよう

固定的性別役割分担の考え方に反対しながらも、家庭内での家事や育児、介護は女性の役割という意識が残っているのはなぜでしょうか。それは、昔からの慣習や親

■アンコンシャス・バイアスによる 決めつけ・押しつけ

区分	考えや発せられる言葉
価値観の決めつけ	・“普通” そうだ ・“たいてい” こうだ など
能力の決めつけ	・どうせムリ、どうせダメ ・できるわけがない など
解釈の押しつけ (違う解釈を受け入れない)	・そんなはずはない ・こうに決まってる など
理想の押しつけ (自分の理想を相手に求める)	・こうある“べき”だ ・こうでないダメ など

※資料：「共同参画」令和3年5月号（内閣府男女共同参画局）

「普通そうだ」
「こうあるべきだ」
「どうせムリだ」



からの教え、日々接する情報などで「なんとなくそう思うものだ」と思い込み、性別でひとくくりにしてしまうことがあるからです。こういった「無意識の思い込みや偏った考え」のことを「アンコンシャス・バイアス」と言いま

す。アンコンシャス・バイアスから生まれる言動には「普通そうだ」「こうあるべきだ」「どうせムリだ」といった、決めつけや押しつけが（右表参照）挙げられます。これは、過去の経験や見聞きしたことの影響を受け、脳が無意識のうちに判

ゆめっせフェスタ2022

今日から、もっと家族が楽しくなる！～だから家族で話そう～



今回の講演会は、産婦人科や自治体などで産前産後の夫婦向けの両親学級やワークショップ、講演を実施している渡邊大地さんが講師を務め、家族で話し合う時間を持つことがなぜ重要なのかを実体験などを交えながら伝えます。

- とき 6月18日(土) 13時45分～(13時開場)
- ところ 田川青少年文化ホール
- 講師 渡邊 大地さん (株式会社アイナロハ 代表取締役/札幌市立大学非常勤講師)

参加費
無料

- 申込期限 6月13日(月)
- ※託児と手話通訳があります。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年もオープニングアトラクションやバザーなどは行わず、規模を縮小して開催します。
- ※新型コロナウイルスの感染状況により、日時・内容の変更や中止を判断する場合があります。